

JT-G746

6312kbit/s PCM 多重变換装置

Characteristics of Second Order Digital Multiplex Equipment Operating at 6312 kbit/s

第3版

2002年5月30日制定

^{社団法人} 情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。 内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、 転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

<参考 >	3
1.本標準の規定範囲	4
2.符号化特性	4
3.ビットレート	4
4.タイミング	4
5.フレーム構成	4
6.フレーム同期とCRC手順	4
7.表示すべき障害状況と装置動作	4
8.シグナリング	5
9.インタフェース	5

<参考>

- 1.国際勧告との関連
 - (1) 本標準はITU-T勧告1988年版G.746に準拠したものである。
- 2. 上記国際勧告等に対する追加項目等
 - (1) 本標準は上記国際勧告に対し、以下の点につき削除している。
 - (a) 内部タイミングに関する項 上記項目を削除した理由は、TTC標準として従属同期を採用したことによる。
 - (2) 本標準は上記勧告に対し以下の点で先行している。
 - (a) 5章フレーム構成
 - (b) 6章フレーム同期とCRC手順
 上記項目を先行させた理由は、これらの内容を規定するJT-G704及びJT-G706に連動させたためである。
 - (3) 本標準は上記ITU-T勧告に対し以下の点を追加している。
 - (a) 7章の障害状況としてのAIS信号に関する事項
 上記項目を追加させた理由は、警報の扱いとしてITU-Tの考え方に沿い、わが国で採用されていることによる。
- 3.参考文献
 - (1) 参照している標準

T T C 標準:J T - G 7 0 3,J T - G 7 0 4,J T - G 7 0 6,J T - G 7 1 1, J T - G 7 1 2

4.改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	昭和63年5月31日	制定
第2版	平成 元年4月28日	CCITT 勧告準拠年号の変更
第3版	平成14年5月30日	TTC標準保守による変更

5.工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧 になれます。

6.標準作成部門

第一部門委員会 第二専門委員会

1.本標準の規定範囲

本標準は6312kbit/sPCM多重変換装置に関し規定するものである。

2. 符号化特性

符号化則、標本化周波数、および最大負荷レベルはJT-G711による。

3.ビットレート

ビットレートは6312kbit/s±30ppm とする。

4.タイミング

本 P C M 多重変換装置のタイミングは入力ディジタル信号から、および外部クロック供給装置からの従 属同期方式を採り得ることとする。

5.フレーム構成

フレーム構成はJT-G704の2.2及び4.1による。

6.フレーム同期とCRC手順

フレーム同期とCRC手順はJT-G706の3.による。

- 7.表示すべき障害状況と装置動作
- (1) 表示すべき障害状況

本装置の表示すべき障害状況を表7-1/JT-G746に示す。

表7 - 1 / JT - G 7 4 6 表示すべき障害状況

(ITU-T G.746)

装置部分	障害状況
多重化部	電源障害
分離部	
分離部	6 3 1 2 kbit/s 入力信号断
	フレーム同期外れ
	対局警報受信
	AIS(全て " 1 " パターン)受信 *

(2) 障害時の装置動作

障害時における本装置の装置動作を以下とする。

- (a) 6312 kbit/s 入力信号断、またはフレーム同期外れの場合に、このサービス断を表わす情報 を交換機に対して送出する。
- (b) 6312kbit/s入力信号断、またはフレーム同期外れの場合は、JT-G704の2.2.3.4による。
- (c) 6312kbit/s入力信号断、またはフレーム同期外れの場合に、アナログ出力を抑制する。

8.シグナリング

シグナリングはJT-G704 4.1.3による。

9.インタフェース

アナログ信号の特性はJT-G712による。また、6312kbit/s 信号の物理/電気的特性はJT-G703による。